

ひかりのこ

2月園便り

聖ミカエル幼稚園

2013年1月25日発行

月主題：わあ、すごいね

年末年始、家族でオーストラリアへ行ってきました。家族5人で海外へ出かけるのは今回が初めて。夫と、末の息子は生まれて初めての海外となりました。目指すはビクトリア州。ここに、子どもたちが小学生だった頃英語の家庭教師をしてくださった、ゴードン・リバットさんと日本人の奥様さおりさん、6歳のそらくんが住んでいます。ゴードンさんたちは日本で結婚し、日本にいるうちに（オーストラリアの物価が安かったころ）庭付きの中古住宅を購入し、おととしの春、オーストラリアに帰りました。

私たちはメルボルンという大きな町に5泊中3泊宿を取り、その間はメルボルンの町や、ツアーでグレートオーシャンロードを巡る旅をしました。また、あとの2泊はアップウェイに住むゴードン宅にお世話になる予定でした。ゴードン宅にはもう一組の日本からのお客さんが来ていて、狭ければ庭で（庭がとても広く木がジャングルのように生い茂り小川も流れている！）キャンプもいいね！と話していました。ところが、ゴードンさんのすぐ近所の方が「私たちは年末年始、旅行に行くから私たちの家にお泊まりください。」とお家を提供してくださったのです。日本では考えられないことです。お家はホテルのようにきれいで、広い応接間もありびっくりしました。また、別のご近所の老夫婦からもアフタヌーンティーにお呼ばれし、私たち家族とゴードンさん一家、もう一つの日本人家族とで楽しいひと時を過ごしました。見も知らぬ外国人の私たちにこんな心遣いをしてくださるご近所の方々の心の広さに感激しました。ゴードンさんのお庭には七色のインコや、真っ白の体に金の王冠をつけたオウムや、ワライカワセミなど色とりどりの野鳥がやってきて、夜中にはポッサムという有袋類もやってきます。この自然と一体の風土が、人をおおらかに優しくするのもかもしれません。

他人を受け入れること、他人に明るく接すること、そして自分の人生をうんと楽しむこと。この旅行で教わったことです。月主題「わあ、すごいね。」の副主題は「お互いの違いを認めつつ助け合えることの喜びを感じる。」です。他人を認め、受け入れることによって私たち大人も子どもたちも成長していきたいものです。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

Garth Brooksと言う米国の歌手がいます。彼は外国ではあまり知られていませんが、アメリカ国内ではとても有名な歌手です。彼のヒットアルバムの中に、“Unanswered Prayers”（答えられなかった祈り）という歌があります。その歌の歌詞の内容は次のようです。ある男が一人の女を愛します。彼女のことをあまりにも愛した彼は神様に彼女を妻として与えてくださいと毎晩祈ります。が、結局、二人の愛は結ばれません。その祈りは答えられませんでした。そして、時間が経ち、その祈りも忘れられてしまいます。長い年月が流れてからのある日、偶然に昔の彼女とその祈りを思い出した彼は、長い年月を共に過ごしてきた今の妻と昔の彼女を比べてみます。そして、彼は比べることも出来ないほど素晴らしい仲間であり、同志であり、最高の親友である今の妻と共に過ごしてきた日々がどれほど素晴らしい日々であったのかに気づきます。コーラスで歌うこの曲のリフレインの歌詞は次のようです。“神様の偉大な恵みの中には答えられない祈りもあるよ”時に私たちの願いは叶えられない場合があります。そして、私たちはその故にがっかりしたり、神を恨んだりもします。けれども、願いが叶えられなくて助かる場合もあれば、願った通りではなかったけれども、結果としてもっと良かった場合もあります。叶えられない願いのためがっかりするより、当たり前のように過ごしている日々の営みに感謝する毎日でありますように。

チャプレン ジョシュア 司祭 李 香男

